

会 議 録

1 会議の名称 令和5年度第1回文化財保護審議会

2 開催日時 令和6年3月5日（火）午後1時30分～午後3時45分

3 開催場所 熊取交流センター（煉瓦館） 講義室A

4 議 題 案件1. 会長、副会長の選任について
案件2. 歴史的建造物悉皆調査について（報告）
案件3. 住吉川河川整備に伴う旧中林綿布工場跡の調査について（報告）
案件4. 日本遺産（葛城修験）の追加申請について（報告）
案件5. 令和5年度事業報告及び令和6年度事業計画について（報告）

5 公開・非公開の別 公開

6 傍聴者数 0人

7 審議会等の概要

案件1 会長、副会長の選任について
会長に瀬川健委員、副会長に腕野亮治委員が選出された。

案件2 歴史的建造物悉皆調査について（報告）
文化財保存活用地域計画の作成の一環として本年実施した歴史的建造物悉皆調査について、現地調査を行った大阪府建築士会より調査概要を説明した。

（委員）地域計画作成の一環なので、熊取町にとってどのようなテーマやストーリーに位置付けられるのかということが大事。綿花栽培等、農業の発展による熊取町という視点では、タオル工場、農業小屋、タマネギ小屋は重要。どのような視点からその建物を登録文化財にしていくか、方針を考えていく必要がある。

（委員）大森神社の近くの大宮橋は、昭和6年頃に有名な橋が移築されたものだが、今回の調査では土木構造物があがっていないので入れといていただけるとありがたい。

（委員）紺屋地区の家の解体、新築が多い。駅から煉瓦館まで土塀のある景観が良かった。大久保の交差点にポスト（丸形）がある。

(委員) 今回の調査は、建築物が対象で、工作物は対象としていないということで、今回の調査の成果と町の方で工作物や土木などをピックアップしてまとめられるような形にすると登録文化財の対象として広くカバーできるのではないかと。

(委員) 石灯籠や鳥居なども登録文化財になるのでどこまでカバーできるか。

また、京都大学複合原子力科学研究所は、町内の建築を含めた、観光的あるいは、町内の歴史文化を知るウォーキングの対象とすることなどが重要と思われる。

案件3 住吉川河川整備に伴う旧中林綿布工場跡の調査について (報告)

事務局より資料に基づき説明を行った。(特に意見なし)

案件4 日本遺産(葛城修験)の追加申請について (報告)

事務局より資料に基づき説明を行った。

(委員) 候補になった雨山は構成文化財とはならなかったが、修験との関連があるということなので、今後雨山は修験道との関係も一つの性格として扱ったらよい。

案件5 令和5年度事業報告及び令和6年度事業計画について (報告)

事務局より資料に基づき説明を行った。

(委員) 以前から、重要文化財の制度の中に土地指定というものがある。庭園や土塀等環境全体に法の網をかける制度で、降井家も入れるべきである。降井家は中世の面影を残す貴重なものなので大阪府、文化庁と調整し取り組んでもらいたい。

8 審議会の情報 名 称 文化財保護審議会
根拠法令等 文化財保護審議会条例
設 置 期 間 平成6年3月31日
所 掌 事 項 熊取町教育委員会の諮問に応じて、文化財の保存及び活用に関する重要事項について、調査審議し、これらの事項について教育委員会に建議する。
委 員 数 8人

9 担 当 課 教育委員会事務局 生涯学習推進課